

令和5年6月

伊東市議会 6月定例会

一般質問要旨

伊東市議会

一 般 質 問 順 序

- 1 鈴 木 絢 子 君
(6月14日(水) 10時～10時50分)
- 2 篠 原 峰 子 君
(6月14日(水) 11時～11時50分)
- 3 仲 田 佳 正 君
(6月14日(水) 13時～13時50分)
- 4 杉 本 憲 也 君
(6月14日(水) 14時～14時50分)
- 5 佐 藤 周 君
(6月14日(水) 15時～15時50分)
- 6 佐 藤 龍 彦 君
(6月15日(木) 10時～10時50分)
- 7 浅 田 良 弘 君
(6月15日(木) 11時～11時50分)
- 8 鳥 居 康 子 君
(6月15日(木) 13時～13時50分)
- 9 重 岡 秀 子 君
(6月15日(木) 14時～14時50分)
- 10 田 久 保 眞 紀 君
(6月15日(木) 15時～15時50分)

11 長 沢 正 君

(6月16日(金) 10時～10時50分)

12 四 宮 和 彦 君

(6月16日(金) 11時～11時50分)

13 石 島 茂 雄 君

(6月16日(金) 13時～13時50分)

※ 質問時間は、進行状況によって変更することがあります。

一 般 質 問 要 旨

議 員 鈴 木 絢 子

- 1 本市の無線LAN整備について、以下2点伺う。
 - (1) 公共施設の無線LAN整備の状況を伺うとともに、今後整備する考えがあるか伺う。

 - (2) 避難所に指定されている体育館の無線LAN整備の状況を伺うとともに、今後整備する考えがあるか伺う。

- 2 本市では、情報を配信するためにLINE公式アカウントを活用しているが、道路や公園内の設備の破損の通報や粗大ごみの回収などの受付をLINE公式アカウントで行っている自治体などもあることから、本市においてもこのような取組を行ってはいかがか伺う。

- 3 本市には20か所の都市公園があるが、利便性や魅力を向上していくために現在行っている取組を伺うとともに、今後の取組について伺う。

- 4 本市には静岡県立東部特別支援学校伊東分校が24年間西小学校内に設置されており、市内小・中学校と様々な取組を行っていたが、3校統合により旧旭小学校への移転となり、今までのような共生の形が難しい中、今後どのように連携を図っていくか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 篠 原 峰 子

- 1 本年3月に策定された第三次伊東市環境基本計画について、以下3点伺う。
 - (1) 計画策定に当たり、伊東市「ゼロカーボンシティ」宣言を3月に表明したが、宣言に至った経緯を伺う。また、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにするための本市の新たな取組や拡充していく施策について伺う。
 - (2) 3R（ごみの減量・再利用・再資源化）を推進する環境目標について、ごみの削減に向けての思い切った取組が必要と考えるが、平成29年に玖須美区内から始まったプラスチック製容器包装の分別収集実証事業について、今後の見通しを伺う。
 - (3) 併せて策定された伊東市地球温暖化対策実行計画の中で、温室効果ガス排出量を実質ゼロにするため、再生可能エネルギー導入により基準年度の2013年度から2050年度までに7万3,900トンのCO₂削減を見込んでいるが、推計見込みの根拠と導入実現の見通しについて伺う。
- 2 本市における小・中学校教職員の働き方改革について、以下2点伺う。
 - (1) 静岡県は2019年2月に「学校における業務改革プラン」を策定し、2022年度からはプランを改訂して取組の推進を図っている。これらを踏まえて、本市における小・中学校教職員の働き方改革についてはどのような取組がなされてきたのか伺うとともに、現在の取組状況及び今後の計画について伺う。
 - (2) 業務改善の一つとして、給食費等の徴収業務について公会計化や児童手当からの一律徴収を実施する考えはないか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 仲 田 佳 正

- 1 少子高齢化が進む本市において、高齢者や交通弱者の移動手段の確保や交通空白地域の解消のためには、今後の公共交通の在り方について本格的に調査・研究をする必要があると考えるが、今後の公共交通に対する本市の考えを伺う。

- 2 令和4年度に行われた、こども家庭庁による不適切な保育への対応等に関する全国実態調査について、本市での調査結果を伺うとともに、見えてきた課題について伺う。

- 3 東小学校・西小学校及び旭小学校の統合に伴い、児童の安全・安心な通学支援を目的に始まったスクールバス運行の現状及び課題について伺う。

- 4 マンダリンホテル跡地に計画している新図書館新築工事の入札は不調に終わったが、再度の入札に向けたスケジュールや今後の新図書館建設に関する本市の考えを伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 杉 本 憲 也

- 1 令和2年度国勢調査によれば、本市の高齢単身者世帯は6,251世帯で前回調査時の5,540世帯より12.8%増加するとともに、内閣府の令和4年版高齢社会白書では、60歳以上の一人暮らし世帯の50.8%が孤立死を身近な問題と感じている旨の調査結果に鑑み、本市の孤立死を防ぐための取組について伺う。

- 2 伊東市民病院に関し、同病院が本市にもたらすメリットは何か伺うとともに、市民が利用したいと思える市民病院の実現の観点から、現在の病院運営体制を見直す考えはないか伺う。

- 3 本市の図書館行政に関し、公立図書館が本市に必要な理由及び本市にもたらす事業効果についての見解を伺うとともに、運営方法を直営とした場合では、なぜ新図書館の事業目的達成のために必要十分な新図書館の運営ができないと考えるのか伺う。

- 4 本市の児童・生徒の通学手段のうち、特に公共交通機関の利用や自家用車での送迎の状況を伺うとともに、現状を踏まえた中で通学の利便性や安全性をより一層向上させるために必要な取組について、本市の見解を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 佐 藤 周

- 1 令和4年度をもって閉校となった旧県立伊東高校及び旧県立伊東高校城ヶ崎分校の学校施設に関し、以下3点伺う。
 - (1) グラウンド、体育館の学校施設開放について、閉校直前である令和4年度とコロナ禍前の令和元年度の利用登録団体数について、本市として把握しているか伺うとともに、閉校後、継続利用を求める団体からの要望についても把握しているか伺う。
 - (2) 閉校に伴い、現在利用することができないグラウンド、体育館について、市民が利用できるよう、本市が県から施設を借り受ける計画を進めていると聞くが、県との協議における課題を伺うとともに、市民が利用可能となる時期及び利用料金の想定について伺う。
 - (3) 対島中学校については、グラウンドと駐車場がともに狭隘で、校舎の老朽化も見受けられることから、近隣である旧城ヶ崎分校校舎に移転してはいかがか。
- 2 中高生の部活動や社会体育活動における陸上競技の充実のためには、濡れても滑りにくく雨でも競技が可能な陸上競技用オールウェザートラックが必要であると考えことから、市内グラウンドへの整備に関し、以下2点伺う。
 - (1) 市内中学校において整備可能な面積を有するグラウンドについて伺う。
 - (2) 小室山公園総合グラウンドへの整備の可能性について伺う。
- 3 中学校運動部活動の地域移行に関する本市の取組について、進捗状況及び課題を伺うとともに、今後の見通しについて伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 佐 藤 龍 彦

新図書館建設に関し、以下3点伺う。

- 1 新図書館新築工事の入札が不調に終わったことで、いま一度建設計画を見直す機会と考え、以下5点伺う。
 - (1) 館内全体の空調について、エアコンを設置せずに空調を行う仕組みと聞いたが、吹き抜け構造であるので、十分な効果が得られるか伺う。
 - (2) 南西向きに大きなガラス張り箇所が多く、展示する書物の日焼けや室温の上昇を招く心配があるが、対策や運営方法をどのように考えているか伺う。
 - (3) ヒダ壁と称した大きな壁が館内のメイン部分にあるが、展示不可である旨の説明があったことから、イベント等での展示物の掲示方法をどのように考えているか伺う。
 - (4) 植栽管理が図書館職員の業務に及ぼす影響について伺う。
 - (5) 建設計画を見直すに当たり、市民説明会を再度開催するべきと考えるが、いかがか。
- 2 運営方法が直営方式、指定管理者制度のいずれであっても「図書館協議会」の設置は重要と考えるが、いかがか。
- 3 運営方式を指定管理者制度とした場合でも、運営の要である館長については公募もしくは市職員など熱意ある人を採用する考えはないか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 浅 田 良 弘

1 本市の地域公共交通政策を考える中で、M a a S（モビリティ・アズ・ア・サービス）は、公共交通全般での交通手段の検索、予約、支払いをスマートフォンで行い、利用者の利便性や交通渋滞、環境問題など、地域での交通弱者対策の問題解決に役立つツールで、全国各自治体での実証実験が行われており、次世代移動サービスとして注目されているが、それに対する本市の認識を伺うとともに、伊豆エリアでの取組やそれに対する本市の協力体制について伺う。

2 4月9日に行われた静岡県議会議員選挙では、本市における投票率は低調であったことから、その要因をどのように分析しているのか伺う。

また、いまだバリアフリー化されていない24投票所のうちの4投票所について、改善の見通しを伺うとともに、その改善策として、バスによる移動投票所の開設や投票所の変更を実施することについて、どのように考えるか伺う。

3 6月3日発災の鎌田八代田地内におけるのり面崩落について、本市の今後の復旧等対応について伺う。

4 新図書館建設事業について、以下4点伺う。

(1) 入札が不調に終わった要因と仕様変更の必要性について伺う。

(2) 建設工事請負費に係る令和5年度予算の積算根拠と工事の進捗をどのように見込んでいたか伺う。

(3) 開館に向けたスケジュールが変更されるのか伺う。

(4) 新図書館の運営については、指定管理者制度により行うのか、その方向性を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 鳥 居 康 子

- 1 令和5年3月に、伊東市公共施設等総合管理計画が改訂されたが、同計画に基づいて、公共施設の維持・利活用・売却等について、今後どのように進めていくか伺う。

- 2 ひきこもり等への対策について、国において孤独・孤立対策推進法が成立し、今後は様々な団体等で構成する地域協議会の設置が自治体の努力義務となるが、本市におけるひきこもり等の相談に関する事業の実施状況について伺う。

- 3 空き家対策に関し、国において改正空き家対策特別措置法が成立し、放置すれば特定空き家となるおそれがある物件を新たに「管理不全空き家」に指定することができ、また、場合によっては固定資産税の特例の対象とならないなど、空き家に対する対策が強化されることとなるが、改正される同制度の周知をどのように行っていくか伺う。

- 4 現在、本市の健康マイレージ事業については、検診や教室などへの参加によりポイントが付与される仕組みとなっているが、参加者を増やす取組として、他の自治体で実施されているように、自分で健康やボランティアに関する計画を立て、それを実践することによりポイントが付与される仕組みを新たに構築してはいかがか。

- 5 公務員の定年引上げの影響による今後の人件費の見込みについて伺う。
- 6 令和4年7月に地域公共交通活性化事業取組支援業務委託により実施した、伊豆高原地域デマンド型乗合タクシーの実証運行の実施結果について伺う。
- 7 妊産婦支援に関し、住民税非課税世帯の妊婦に対する産科初診料の無料化について、今年度から国として本格化することであるが、本市の取組について伺う。
- 8 伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針が示されてから約4年が経過し、また、伊東小学校への統合も完了したことから、新たな計画を策定する時期に来ていると思うが、本市の考えを伺う。
- また、小・中学校だけでなく、幼稚園や保育園を含め、本市として一体的に適正配置等を検討していく必要があると考えるが、いかがか。

一 般 質 問 要 旨

議 員 重 岡 秀 子

1 盛土規制法が施行される中、荻地内での建設資材置場造成工事について、以下4点伺う。

(1) 現在の工事の進捗状況と今後の工事計画について伺う。

(2) 盛土規制法ではその規制区域を県が定めるに当たり、市町村の意見・要望を重視しているが、本市としては、どのような基準で区域の要望を行うのか伺う。

(3) 同法では、盛土等の工事の許可基準に、土地所有者等への同意や周辺住民への事前周知（説明会）に必要な措置を講じるよう定められているが、本造成工事に関しては周知が一部の関係者のみにとどまり、不十分なままの状況となっている。法の趣旨に鑑みると、工事中であっても説明会の実施は必要であり、市としても業者に指導すべきと考えるがいかがか。

(4) 本市としては令和2年に宅地造成等規制法に基づく申請に対し、許可をしているが、中間検査等はどうに行っているか伺うとともに、法の施行を踏まえ、今後の対応について伺う。

2 市営住宅の改良工事について、以下2点伺う。

(1) 家賃が安く、暮らしやすい市営住宅の供給は、重要な市民サービスであると考えているが、リフォームがされていないために空室があっても入居できないという声を伺っていることから、市営住宅の性能向上及び長寿命化を目的として行われている角折住宅住戸改良事業について、進捗状況と今後の事業計画を伺う。

(2) 風呂釜の設備がないことが懸案となっている新山住宅も性能向上及び長寿命化を目的として、改良工事が予定されていることから、具体的な計画内容について伺う。

- 3 令和4年度には小・中学校の給食費が、2学期及び3学期のみ免除されたが、本年度は幼稚園での部分的な取組に限られていることから、給食費の無償化に関し、本市の考え及び今後の取組について伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 田久保 眞 紀

1 公共施設の管理に関し、既存の施設の老朽化問題に加え、今後新たに設置される施設を含めた計画的な管理が必要と考えることから、公共施設の総合的な管理について、本市の見解を伺う。

2 まちづくりの観点からも、公共交通の在り方は今後ますます重要になると考えるが、現状の課題や、今後の見込みについて伺う。

3 今後、建設が進む新図書館について、建設後の施設の維持管理費や運営をどのように見込んでいるかを伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 長 沢 正

- 1 本市の熱中症対策について、以下3点伺う。
 - (1) 市民の生命を守るための取組の推進について伺う。
 - (2) 高齢者に対する熱中症予防への意識を醸成するための取組について伺う。
 - (3) 児童・生徒に対する取組について伺う。

- 2 災害対策本部の業務継続を確保する観点から非常用電源の確保状況について伺う。

- 3 自治会等のデジタル化について、以下3点伺う。
 - (1) 地域コミュニティを維持するための支援の必要性について、考えを伺う。
 - (2) デジタル技術を活用した地域コミュニティの再構築について、本市の見解及び取組状況を伺う。
 - (3) 地域コミュニティの担い手を自治会等に限定することなく、多様な人材や組織が柔軟に連携する中で、共助の仕組みを構築することについて、見解を伺う。

4 地球温暖化対策推進法に基づく伊東市地球温暖化対策実行計画の推進について、事務事業編、区域施策編の二側面から、以下5点伺う。

(1) 当該実行計画の事務事業編における取組状況について伺う。

(2) 事務事業編における実施状況の点検及び公表について伺う。

(3) 区域施策編に位置づけられた施策の実施に向けた取組について伺う。

(4) 区域施策における個人向けの取組の例として「省エネ改修や省エネ機器導入のための補助制度」や、「EV/PHEV/FCV導入に向けた協定締結」などがあるが、これらに対する取組状況について伺う。

(5) 区域施策の横断的な取組である温室効果ガス排出量の算定について伺うとともに、施策の効果について伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 四 宮 和 彦

- 1 本年3月定例会において、下水道使用料の引上げが議案として上程され、その後撤回されたことについて、以下5点伺う。
 - (1) 議案の撤回理由については、下水道使用料引上げ時期の見直しであって、今後、使用料引上げを行う方針に変わりはないのか伺う。
 - (2) 下水道使用料の引上げが必要である根拠について伺う。
 - (3) 下水道事業における収支損益の悪化については、下水道使用料が賦課されている有収水量が汚水総処理量に対し、50%を下回っていることに主たる原因があることは明らかであるが、有収率が低い理由を伺う。
 - (4) 下水道使用料が賦課されていない汚水、いわゆる未収水についてはその多くを温泉汚水が占めている可能性を指摘できるが、いかがか伺う。
 - (5) 3月定例会において、議案説明の際に、下水道使用料の引上げの正当性根拠として、受益者負担が強調されていたが、下水道の受益者とは誰を指すのか伺う。

2 キャッシュレス決済ポイント還元事業について、以下4点伺う。

- (1) 本年6月1日から始まった同事業実行委員会の契約先は、株式会社静岡博報堂とのことであるが、これに間違いはないか伺う。

- (2) 契約先事業体の従業員が、市内飲食店や商店に対し、a u P A Y、d払い普及のための営業活動を行っているとされる記事が、4月にSNS上に投稿されており、その際、店舗オーナーに渡された名刺には、「a u P A Y d払い共同事業体運営事務局（博報堂）」と記載があり、東京都内の賃貸オフィスビルの住所が記載されているが、株式会社静岡博報堂とは別法人である株式会社博報堂が事業に関わっている理由を伺う。

- (3) 株式会社静岡博報堂は、当初、株式会社博報堂静岡連絡事務所として設立された会社であり、平成15年に株式会社静岡博報堂として独立してはいるが、その設立経緯や公表される企業情報からすると株式会社博報堂も株式会社静岡博報堂も、博報堂D Yホールディングス傘下にある博報堂グループの連結子会社である。契約先が株式会社静岡博報堂であっても、事業体の実体は株式会社博報堂なのではないのか伺う。

- (4) 東京2020オリンピック・パラリンピックにおける談合問題等で、電通・博報堂・東急エージェンシー等の大手広告代理店は、政府機関から軒並み指名停止処分を受けており、これを受けて多くの都道府県においても、3月時点で、おおむね6か月間から9か月間の指名停止処分を行っている実態がある。本市においては、これら広告代理店を指名停止としていないのか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 石 島 茂 雄

- 1 市の所有する土地のうち、旧市民病院跡地、清掃事務所移転用地として活用予定であった荻地内の土地及び宇佐美臨海テニス場跡地の今後の利活用について、スケートボードパークなど子供たちが楽しめる場所としてはいかがか。

- 2 介護予防対策として、既に取り入れている介護予防教室や体操を含めた本市の介護予防事業の取組及び成果について伺う。

- 3 本市の高齢ドライバー支援に関して、以下2点伺う。
 - (1) 高齢ドライバーの運転免許証の更新等に対する支援及び助成の現状について伺う。

 - (2) まだ運転免許証を返納する状態にまで至らない、また、日常生活に支障を来すために返納できない高齢ドライバーの今後を見据えて、安全運転支援装置が搭載されたサポーターカー購入に対する助成制度の導入について伺う。